

# バンクーバーBreak the Shellプログラムについて

## Q. プログラムはどこで行われますか？

プログラムは主にブリティッシュコロンビア大学（UBC：University of British Columbia）で行われます。UBCは、メインキャンパスが、カナダ西部のバンクーバーに位置する、約160の国から集まった70,000人以上の学生が在籍する国際性と多様性に富んだ名門州立大学です。

UBCは研究活動にも力を入れており、1万件以上のプロジェクトに年間約7億7千万ドルの予算が投資されています。UBCからは多くのスピノフ企業が誕生しており、学生たちが実践的な学びを通じて未来のリーダーとなるための土台が築かれています。



(ブリティッシュコロンビア大学の時計塔)

## Q. 英語力はどの程度必要でしょうか？

Break the Shellプログラムは、ディスカッションやプレゼンテーションの経験があれば、よりスムーズに取り組めます（英検準2級以上推奨）。他国では通常5日間のセッションプログラムが多いところ、このプログラムは4日間なので、初めてBTSに参加する方にもおすすめです。グループリーダー（UBC生）が参加者5～6人程度に一人つき、ディスカッションテーマやアイデアの理解を手助けします。また参加者が何か発表しようとするときの表現のしかたなどもサポートします。

## Q. 食事はどのようにとりますか？

このプログラムは、BTSではめずらしいホームステイプログラムです。朝、晩はファミリー宅で食事をとり、ランチはホストファミリーに用意してもらったもの、またはファミリーに教えてもらい自分で用意したものを持参します。



## Q. プログラム監修のキム博士ってどんな人？



### 講師：ヒョシン・キム 博士 Hyoshin Kim BA, MA, EdD

ソウル・イファ女子大学を卒業後、ハーバード大学にて大学院、教育博士号を取得。在学中より、教育研究機関にて教育者向け指導カリキュラム、またビジネス向け教育カリキュラムやセミナーを運営。UBCをはじめ、カナダの高度教育機関、政府、NPO、大手企業などにおいて30年以上教育者としての経歴を持っています。

(※左写真はUBCでのキム博士の講義の様子)

## Q. 異文化理解プログラムで身につくことは？

### 言葉とコミュニケーション

自分の考えやその理由を英語で伝える機会がたくさん与えられます。正確さよりも「伝えよう」という意識が大事だと身をもって感じることで、積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢を身につけることができるでしょう。

### 異文化理解と柔軟性

異なる文化や価値観があることを理解し、受け入れることを学びます。自分の文化だけでなく、他の文化も大切にすることでより広い視野で物事を見ることができるようになります。そのうえでほかの人とは違う自分の意見を発信する、そしてその違いを楽しむことができる積極性と柔軟さも一緒に学んでいきます。

### グローバルな視野

異文化理解を深めるためにカルチャーマップなどの具体的な手法を用いて、自分自身と他者の文化的背景を視覚的に捉えます。違いを知ること、ニュースや国際的な出来事に関心を持ち、周りの世界について考える力が育まれます。

### 協調性と適応力

異なる環境や状況にうまく適応し、仲間と一緒に目標を達成するためのバランス感覚も大切です。チームで協力することにより協調性、問題解決能力が高まります。参加者はお互いのアイデアを引き出し合いながら共同で課題に取り組むことで、信頼関係や協調性を育むことができます。